



2024年3月26日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ソ ラ コ ム
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 玉 川 憲
(コード番号：147A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 五 十 嵐 知 子
(TEL 050-3171-7091)

東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2024年3月26日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2024年3月期（2023年4月1日から2024年3月31日）における当社グループの連結業績予想は、次のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項 目	2024年3月期 (予想)			2024年3月期 第3四半期累計期間 (実績)		2023年3月期 (実績)	
	対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高	8,031	100.0	27.5	5,454	100.0	6,299	100.0
営業利益	654	8.2	546.0	644	11.8	101	1.6
経常利益	592	7.4	425.2	632	11.6	112	1.8
親会社株主に帰属する 当期(四半期) 純利益	435	5.4	514.3	456	8.4	70	1.1
1株当たり当期 (四半期)純利益	11円31銭			11円86銭		1円84銭	
1株当たり配当金	0円00銭			—		0円00銭	

- (注) 1. 2023年3月期(実績)及び2024年3月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 2024年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募による新株発行株数(4,733,800株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しており、オーバーアロットメントによる売出しに伴う第三者割当増資分(上限1,620,700株)は含めておりません。
3. 2022年12月30日付で、普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。上記では、2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。

【2024年3月期業績予想の前提条件】

(当社グループ全体の見通し)

現在、インターネットに接続されるデバイス数は飛躍的に増加し、あらゆるモノがインターネットにつながるIoT(Internet of Things)が世界的に加速しております。それに伴いIoTのテクノロジーの重要性が高まっておりますが、企業がIoTシステムを構築するには、ハードウェア、ソフトウェア、通信、セキュリティ、クラウド、アプリケーションと多くの技術要素が複雑に絡む様々な課題に対処する必要があります。そのような環境の中、当社グループはIoTの導入におけるハードルを下げ、多様な顧客が利用可能な汎用性の高いプラットフォームを提供することで、ミッションとして掲げる「IoTテクノロジーの民主化」に向けて取り組んでおります。当社グループは、「世界中のヒトとモノをつなげ共鳴する社会へ」のビジョンを実現するために、MVNO(仮想移動体通信事業者(注1))としてグローバルでNo.1のIoTプラットフォームを目指しております。

IoTは電気・ガスの遠隔検針、工場の遠隔監視、GPS(位置情報管理)を活用した効率的な配送からお子様の見守りに加え、海外においても、遠隔医療、電子決済、農業等幅広い業種でご利用が広がっております。契約回線数(注2)は2023年10月には600万回線を突破し、課金アカウント数(注3)は7,908件(2023年12月末現在)とご利用のお客様数が増加しております。また、当社のIoTプラットフォームはそのままグローバルでご利用いただけるプロダクトであり、足元はグローバルでのご利用実績も急速に増加しております。当社は日本発のグローバルプラットフォーマーを目指しており、より大きなグローバル市場での拡販に向けた成長投資として人員採用を加速してきましたが、前期までに海外の一定の販売体制を構築できた結果、2024年3月期はトップライン成長とともに着実に利益を積み上げるフェーズに入っております。

以上の結果、2024年3月期業績につきましては、売上高8,031百万円(前期比27.5%増)、営業利益654百万円(前期比546.0%増)、経常利益592百万円(前期比425.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益435百万円(前期比514.3%増)を見込んでおります。なお、当該予想値は2023年12月末までの実績数値に2024年1月以降の予測数値を合算して作成した数値となっております。

(注) 1. MVNO : 仮想移動体通信事業者

2. 契約回線数 : グローバル向けと国内向け並びにセルラー、Sigfox、LoRaWANを含む

3. 課金アカウント数 : 1ヶ月の間にリカーリング収益が発生した口座数をいいます。同一の顧客企業等が 部署や業務別に複数の口座を有する場合があります。

(売上高)

当社はIoTプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、売上高はIoTプラットフォーム利用の「リカーリング収益」、SIMやデバイス等の「インクリメンタル収益」により構成されております。2024年3月期においてはリカーリング収益が全体の売上の67.6%程度に高まり、持続的な売上成長の観点からも売上のクオリティが向上していると見ております。

<リカーリング収益>

当社のメインの売上であり、回線利用を含めたプラットフォーム利用料です。リカーリング収益は顧客から解約意思を示されない限り継続する契約から毎月得られる収益であり、継続利用により収益が積み上がっていく、ストック型の収益モデルです。なお、IoTはモノへの組込型でのご利用になりますので、一旦ご利用が開始されると解約が起きにくい特性があります。顧客は営業部員が担当する顧客とそれ以外の顧客に分かれ、前者が売上の8割以上を占めます。

・営業部員が担当する顧客(課金アカウント)

既存顧客については、計画策定時までの月次実績、受注案件を含め顧客からのヒアリングを基に、新規顧客については案件の受注確度を精査の上、計画を策定しております。

・営業部員が担当しない顧客(課金アカウント)

既存顧客については、計画策定時までの月次実績、受注案件、トレンド、市場予測を基にアカウント数を見積り、これに想定利用単価を乗じることにより計画を策定し、新規顧客については、前期のアカウント数に過年度の実績を踏まえた成長率等に乗じることにより計画を策定しております。

以上より、課金アカウント数の2023年12月末実績は7,910件、2024年3月末時点で8,040件(前期比+5.9%)を見込み、主に既存の課金アカウントからの利用増加に伴い、顧客利用単価であるARPAは通期694千円(前期比18.1%増)を見込んでおります。この結果2024年3月期のリカーリング収益については第3四半期累計実績3,943百万円、通期は5,429百万円(前期比25.5%増)を見込んでおります。

<インクリメンタル収益>

当社のサービス開始の起点となる SIM の販売に加え、スマートメーター、通信用デバイス等の商品販売や IoT コンサルタントによるプロフェッショナルサービス等の売上が対象になります。インクリメンタル収益についても営業部員が担当する顧客とそれ以外の顧客別にリカーリング収益と同様の手法で計画を策定しております。2024年3月期のインクリメンタル収益は第3四半期累計実績 1,511 百万円、通期は 2,602 百万円（前期比 31.8%増）を見込んでおります。

以上の結果、2024年3月期の売上高は第3四半期累計実績 5,454 百万円、通期は 8,031 百万円（前期比 27.5%増）、うち、海外子会社によるグローバル売上について 2,925 百万円（前期比 35.9%）と一段高い成長を見込んでおります。

（売上原価、売上総利益）

売上原価は、主にリカーリング収益に対する通信費、クラウド利用料等と、インクリメンタル収益に対する仕入原価により構成されております。

通信費は、国内及び海外の通信事業者に対する通信費（主に従量制）であり、リカーリング収益に関する売上計画に基づき、直近（過去半年）の平均原価率を乗じて算出しております。クラウド利用料を含め、その他の原価については、直近（過去半年）の原価率等を売上計画に乗じて算出しております。

仕入原価は、主に SIM とデバイス等に係る仕入費用であり、インクリメンタル収益に関する売上計画に基づいて算出した仕入見込み数量に直近（過去半年）の仕入平均単価を乗じて算出しております。

以上の結果、リカーリング収益の増加に伴い、2024年3月期の売上原価は第3四半期累計実績 2,159 百万円、通期は 3,530 百万円（前期比 16.6%増）を見込んでおります。また、売上総利益率はリカーリング収益が 6 割、インクリメンタル収益が 4 割のため、粗利率の高いリカーリング収益の割合が高まる結果、第3四半期累計実績 3,295 百万円、通期は 4,500 百万円（前期比 37.6%増）を見込んでおります。

（販売費及び一般管理費、営業利益）

販売費及び一般管理費は、主に人件費、広告宣伝費であり、人件費が販管費の約 7 割、広告宣伝費が約 1 割を占めております。

人件費は、既存の従業員数及び将来の採用計画を考慮した人員計画に基づき算出しており、2024年3月期末の人員のうち約 1/3 が海外拠点の人員になります。引き続きプラットフォーム開発のエンジニアの採用に加え、拡販に向けたセールス、マーケティング部門の採用強化は進めておりますが、海外での一定の販売体制も構築できた結果、人員数の増加は前期末比で 2 割強にとどまり、2024年3月期の人件費は 2,578 百万円（前期比 8.6%増）を見込んでおります。

広告宣伝費は、新規顧客獲得のための WEB マーケティングに加え、認知向上に向けたメディア出稿、展示会出展等のマーケティング施策の費用を積み上げた上で算出しております。グローバルでの広告宣伝費の増加に加え、コロナの 5 類移行を受け、展示会等へのイベント出展をオンラインからオフラインへ切り替えた影響もあり、2024年3月期の広告宣伝費は 433 百万円（前期比 26.4%増）を見込んでおります。

その他の費用についても過去の実績を基に個別の発生が見込まれる費用を積み上げで算出しております。また、2024年3月期においては、上記の他、第4四半期には上場関連の広告宣伝費用及び業務委託費用として 140 百万円、外形標準課税適用による租税公課の増加 60 百万円を見込んでおります。

以上の結果、主に成長投資である人件費及び広告宣伝費の増加により 2024年3月期の販売費及び一般管理費は第3四半期累計実績 2,650 百万円、通期は 3,845 百万円（前期比 21.4%増）を、営業利益については、第3四半期累計実績 644 百万円、通期は 654 百万円（前期比 546.0%増）を見込んでおります。

（営業外損益、経常利益）

営業外損益の予想値については、業績予想時点で個別に見積りが可能なものを見込んでおり、営業外費用について為替差損、上場関連費用等の発生により 63 百万円の計上を見込んでおります。

以上より、経常利益は 592 百万円（前期比 425.2%増）を見込んでおります。

（特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益）

特別損益の予想値については、業績予想作成時点で個別に見込んでいないものはございません。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は 435 百万円（前期比 514.3%増）を見込んでおります。

(2023年12月までの進捗状況)

2023年12月末時点において、通期業績予想に対し、売上高、段階利益ともに予定どおり進捗しております。また、売上の特性として、リカーリング収益はストックビジネスのため積み上げにより期の後半の売上が増加するとともに、インクリメンタル収益は第4四半期に納入が増える傾向があります。前期までに4期連続黒字を創出しており、足元も将来の成長投資と採算のバランスをとりながらグローバルの拡販を進めているため、月次ベースで安定的に利益を積み上げております。なお、通期の為替レートは実績を踏まえ1ドル145円で算出しておりますが、仮に1円の円高が進行した場合、業績予想に対し、売上高は20百万円減少する一方、海外での販管費減少により相殺されるため、営業損益への影響は限定的と見ております。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって異なる場合があります。

以上



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年3月26日

上場会社名 株式会社ソラコム 上場取引所 東
コード番号 147A URL <http://soracom.com/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)玉川 憲
問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)五十嵐 知子 (TEL)050(3171)7091
四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,454	—	644	—	632	—	456	—
2023年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 494百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	11.86	—
2023年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2023年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の数値及び2024年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は当第3四半期会計期間末時点においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,984	4,461	72.2
2023年3月期	5,663	3,962	67.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,317百万円 2023年3月期 3,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,031	27.5	654	546.0	592	425.2	435	514.3	11.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	38,487,009株	2023年3月期	38,487,009株
2024年3月期3Q	ー株	2023年3月期	ー株
2024年3月期3Q	38,487,009株	2023年3月期3Q	ー株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2023年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済正常化が進み、賃上げや価格転嫁が加速しつつあります。また、世界的には米国経済が堅調に推移し、日本経済にも好影響を及ぼしております。しかし、実質賃金は前年比マイナスで推移しており、米国や中国での金融環境、物価上昇、中東情勢・ウクライナ情勢の緊迫化など、いくつかのリスク要因が引続き存在しております。

ITサービス分野において、IoT技術は、日本の少子高齢化や人口減少に伴う社会課題の解決に貢献することが期待されています。さらに、政府や民間によるICT（情報通信技術）の推進が加速する中、今後もIoTはますます重要な役割を担っていくと予測され、当社が果たすべき役割はますます高まるものと認識しております。また、生成AIを活用する動きが各処でみられ、当社グループにおいても生成AIを活用したサービスの機能強化や研究を進めております。

このような事業環境の下、当社グループにおきましては、北米へのビジネス展開も見据え、チーム体制の強化を行ってまいりました。また、国内外の新規顧客の開拓や営業領域を拡大する取組みについても、進めております。これらの結果、IoTプラットフォームSORACOMの契約回線数は600万回線を突破し、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,454,279千円、営業利益は644,550千円、経常利益は632,454千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は456,334千円となりました。

なお、当社グループはIoTプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比320,922千円増加の5,984,207千円となりました。これは主に、12月納品の受託開発案件の売上計上に伴う売掛金の増加137,349千円、現金及び預金の増加89,405千円、ソフトウェア仮勘定などの無形固定資産の増加72,253千円によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末比178,519千円減少の1,522,675千円となりました。これは主に、リカーリング収益の前受額を売上認識したことにより契約負債が259,272千円減少した一方で、デバイス仕入により買掛金が81,028千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比499,441千円増加の4,461,531千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益456,334千円を計上したことや円安に伴い為替換算調整勘定が37,907千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は72.2%（前連結会計年度末は67.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、本日開示いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。なお、上記業績予想数値は、本日現在において入手可能な情報及に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,532,503	3,621,908
売掛金	889,727	1,027,076
商品	373,799	379,572
その他	280,936	272,673
貸倒引当金	△2,377	△2,261
流動資産合計	5,074,589	5,298,970
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	41,935	39,884
その他(純額)	52,621	54,066
有形固定資産合計	94,557	93,950
無形固定資産		
ソフトウェア	134,855	146,465
ソフトウェア仮勘定	23,013	56,792
その他	29,497	56,360
無形固定資産合計	187,366	259,619
投資その他の資産		
投資有価証券	198,302	198,302
その他	108,469	133,363
投資その他の資産合計	306,772	331,665
固定資産合計	588,695	685,236
資産合計	5,663,284	5,984,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	196,267	277,296
リース債務	8,408	11,762
契約負債	1,134,941	875,668
賞与引当金	42,118	32,155
和解費用引当金	—	5,056
その他	267,512	261,491
流動負債合計	1,649,250	1,463,430
固定負債		
リース債務	16,169	14,805
資産除去債務	13,630	13,753
その他	22,145	30,686
固定負債合計	51,945	59,245
負債合計	1,701,195	1,522,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,627,554	3,627,554
利益剰余金	16,775	473,110
株主資本合計	3,744,329	4,200,664
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	79,039	116,947
その他の包括利益累計額合計	79,039	116,947
新株予約権	138,719	143,919
純資産合計	3,962,089	4,461,531
負債純資産合計	5,663,284	5,984,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,454,279
売上原価	2,159,145
売上総利益	3,295,134
販売費及び一般管理費	2,650,583
営業利益	644,550
営業外収益	
受取利息	22
固定資産売却益	304
営業外収益合計	326
営業外費用	
支払利息	4,139
為替差損	3,120
和解費用	5,138
その他	23
営業外費用合計	12,422
経常利益	632,454
税金等調整前四半期純利益	632,454
法人税、住民税及び事業税	167,687
法人税等調整額	8,432
法人税等合計	176,119
四半期純利益	456,334
親会社株主に帰属する四半期純利益	456,334

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	456,334
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	37,907
その他の包括利益合計	37,907
四半期包括利益	494,241
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	494,241
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。